

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」令和3年度(4月1日～3月31日)【清掃工場別】

有明清掃工場 <休炉2、停止1>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	日	時	日	時	
タービン 1	タービン 発電機	停止	R4.2.8	20:54					R4.3.9	13:31	界磁喪失が発生し、発電機用遮断器52Gが開放された。
20	2号炉	休炉	R3.8.8	5:02	R3.8.8	6:58	R3.8.8	8:32	R3.8.8	8:31	煙突入口四成分計が故障し、故障原因が特定できず、早期の復旧が困難であることから焼却炉を停止した。
19	1号炉	休炉	R3.8.3	13:20	R3.8.3	14:55	R3.8.6	17:00	R3.8.7	7:45	ストーカ油圧駆動装置より油漏れが発生し、復旧が困難なため炉を立ち下げた。

千歳清掃工場 <休炉1、停止1>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	日	時	日	時	
タービン 2	タービン 発電機	停止	R4.3.13	6:45	R4.3.18	8:25	R4.3.28	14:00	R4.3.28	16:40	3月13日から断続的にグランド蒸気復水器ファン電流値上限警報が発報、都度リセットして復旧してきたが、3月18日保安用C/Cがトリップして復旧不能となったため、蒸気タービン発電機を停止した。
14	1号炉	休炉	R3.7.20	0:22	R3.7.20	3:00	R3.8.6	13:30	R3.8.7	12:12	「炉内ガス圧力測定値上限」警報が発報した後、主蒸気流量とボイラ給水流量のかい離を確認した。調査のため焼却炉を立ち下げた。

墨田清掃工場 <休炉2、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	日	時	日	時	
37	1号炉	休炉	R3.12.10	15:00	R3.12.15	9:30	R3.12.20	13:47	R3.12.21	13:01	No.3灰コンベヤの異音があり、当該コンベヤを調べたところ軸受等の破損を発見した。コンベヤを補修するため、焼却炉を立ち下げた。
34	1号炉	休炉	R3.12.3	19:12	R3.12.4	2:49	R3.12.7	14:18	R3.12.8	13:09	No.3灰コンベヤトルク異常の警報が頻発するようになった。当該コンベヤのケーシングとスクレーパが干渉し、コンベヤが動かなくなったため、焼却炉を立ち下げた。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」令和3年度(4月1日～3月31日)【清掃工場別】

北清掃工場 <休炉1、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
17	1号炉	休炉	R3.7.22	10:30	R3.7.29	13:30	R3.7.30	20:32	R3.7.31	11:42	点検時において、No.1アンモニア水供給ラインバルブよりアンモニア水が漏れいしているのを発見したため、焼却炉を立ち下げた。

新江東清掃工場 <休炉1、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
9	2号炉	休炉	R3.5.5	15:00	R3.5.21	21:02	R3.5.27	16:00	R3.5.28	15:34	日常点検の際に、蒸気式ガス再加熱器から白煙が出ているのを発見した。当該設備から蒸気漏れの可能性があり、調査のために焼却炉を立ち下げた。

港清掃工場 <休炉2、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
36	3号炉	休炉	R3.12.12	23:30	R3.12.13	1:45	R3.12.13	4:33	R3.12.13	11:26	ごみホッパがブリッジし、解除不能なため、焼却炉を立ち下げた。
26	2号炉	休炉	R3.9.1	1:20	R3.9.1	3:20	R3.9.1	13:24	R3.9.1	20:10	ごみホッパがブリッジし、解除不能なため、焼却炉を立ち下げた。

豊島清掃工場 <休炉5、停止1>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
55	2号炉	休炉	R4.3.30	16:40	R4.3.31	10:00	R4.3.31	14:46	R4.3.31	21:05	2号系給じん機パドル電流値の脈動を発見した。給じん系を停止し内部確認したところ、ごみを送るスクリュウに多量の布ごみなどが巻付いていた。解除を試みたが容易に除去できず、焼却炉を立ち下げた。
45	2号炉	休炉	R4.1.6	4:00	R4.1.8	10:00	R4.1.17	2:45	R4.1.17	11:09	不燃物堆積が原因と思われる炉床流動不良が発生し、燃焼管理に影響が生じていた。稼働中に可能な措置を試みたが復旧しなかったため、炉内に堆積した不燃物の状況確認及び解除作業を行う必要から焼却炉を立ち下げた。
35	1号炉	休炉	R3.12.5	8:36	R3.12.5	17:05	R3.12.15	4:06	R3.12.15	13:17	1号系消石灰定量供給機の出口圧力が上昇した。消石灰供給ラインが閉塞し、解除を試みたが改善しないため、焼却炉を立ち下げた。
クレーン 3	2号ごみ クレーン	停止	R3.11.27	17:50					R3.12.22	14:00	2号ごみクレーン点検時、ごみクレーン走行用車輪に亀裂を発見した。
30	1号炉	休炉	R3.10.20	15:27	R3.10.20	19:56	R3.10.22	5:08	R3.10.22	13:16	DCS監視中、砂供給コンベヤショックリレーが発報した。現場確認したところ、砂供給コンベヤ下まで砂が堆積していた。解除を試みたが、焼却炉直近での詰まりが原因であると判断し、焼却炉を立ち下げた。
27	2号炉	休炉	R3.9.11	21:05	R3.9.10	22:06	R3.9.11	14:54	R3.9.12	1:11	DCS監視中、誘引ファン入口ダンパの開閉異常及び炉内圧力の乱れを確認した。現場確認したところ、ダンパ駆動用レバーアームのリンクピンが折損していたため焼却炉を立ち下げた。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」令和3年度(4月1日～3月31日)【清掃工場別】

渋谷清掃工場 <休炉0、停止0>

中央清掃工場 <休炉0、停止0>

板橋清掃工場 <休炉3、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
51	1号炉	休炉	R4.1.29	11:34	R4.1.29	15:30	R4.2.17	15:20	R4.2.18	22:06	灰押し装置の前進渋滞が複数回発生した。現場調査を実施したところ機器に不具合があり、機器稼働中では修繕できないと判断、焼却炉を立ち下げた。なお、このまま中間点検に入る。
10	2号炉	休炉	R3.5.25	20:35	R3.5.26	0:40	R3.5.26	18:53	R3.5.27	12:22	灰押し装置から主灰が排出されず、調査のために焼却炉を立ち下げた。
8	2号炉	休炉	R3.5.21	11:11	R3.5.21	17:10	R3.5.24	20:13	R3.5.25	14:12	蒸気式空気予熱器から脱気器へのドレン配管途中から水漏れを発見した。調査のために焼却炉を立ち下げた。

多摩川清掃工場 <休炉7、停止2>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
クレーン 4	A号ごみ クレーン	停止	R4.3.30	20:20							3月30日の20時20分自動運転中にごみクレーンA号故障(巻上 MCCB断)が発報した。手動にて巻上げを行った際、インバータ周辺にて異音が発生していた。調査のため、ごみクレーンを停止した。
49	1号炉	休炉	R4.1.25	10:39	R4.1.25	10:40	R4.2.19	14:04	R4.2.21	13:02	炉内圧力上上限警報が発報し、1号炉が非常停止した。それとほぼ同時にボイラドラムレベルが低下したため、ボイラ水管破孔が疑われる。
43	2号炉	休炉	R4.1.1	17:33	R4.1.1	19:32	R4.1.1	21:30	R4.1.1	23:13	ごみクレーンA・B号が手動運転中に操作不能となった。ごみの投入が不可能となったため、1号焼却炉及び2号焼却炉を立ち下げた。
42	1号炉	休炉	R4.1.1	17:33	R4.1.1	18:59	R4.1.1	21:03	R4.1.1	23:08	ごみクレーンA・B号が手動運転中に操作不能となった。ごみの投入が不可能となったため、1号焼却炉及び2号焼却炉を立ち下げた。
33	2号炉	休炉	R3.11.17	0:27	R3.11.17	8:18	R3.11.17	9:47	R3.11.17	11:00	煙突入口ガスHCl移動平均濃度PV上限警報が発報した。現場の計器を確認し、外気導入及び校正を行ったが、復旧しなかったため焼却炉を立ち下げた。
31	2号炉	休炉	R3.11.6	21:18	R3.11.6	22:20	R3.11.9	17:32	R3.11.10	12:53	2号ストーカ下コンベヤ(2)に異物が噛み込み、コンベヤの動作が不能となった。灰の搬出ができないため、焼却炉を立ち下げた。
クレーン 2	不適物 クレーン	停止	R3.10.22	9:03					R3.10.23	15:45	不適物クレーン手動運転中に故障警報(巻上インバータ故障)が発報し、固化物バンカ内で停止した。
23	2号炉	休炉	R3.8.26	9:47	R3.8.26	9:47	R3.9.20	10:44	R3.9.21	17:28	炉内圧力上上限警報が発報し、2号炉が非常停止した。それとほぼ同時にボイラドラムレベルが低下したため、ボイラ水管破孔が疑われる。
3	2号炉	休炉	R3.4.13	1:36	R3.4.15	14:15	R3.4.19	15:29	R3.4.20	17:02	ボイラ給水弁の動作不良によりボイラドラムレベルの調節が困難となり、調査のために焼却炉を立ち下げた。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」令和3年度(4月1日～3月31日)【清掃工場別】

足立清掃工場 <休炉5、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	日	時	日	時	
40	2号炉	休炉	R3.12.27	22:20	R3.12.27	22:27	R4.1.7	15:19	R4.1.8	9:47	脱気器の水位が急激に低下し、ボイラ給水ポンプがインターロックで停止した。ボイラに給水がされず、ボイラドラムレベルが下下限(-250mm)を下回ったため、焼却炉が緊急停止した。
24	1号炉	休炉	R3.8.26	16:41	R3.8.26	17:17	R3.9.22	14:51	R3.9.23	8:37	ボイラの給水量と蒸発量の差が大きくなったことに加えて、復水タンクのレベルも低下したため現場を確認したところ、ボイラ前壁外側ケーシングから水滴が滴下していた。調査のために焼却炉を立ち下げた。
22	2号炉	休炉	R3.8.15	14:45	R3.8.23	15:01	R3.8.25	22:24	R3.8.26	16:07	No.1集じん用パドルコンベヤの電流値が高くなり、確認したところコンベヤ内が灰で閉塞していた。閉塞を解除し、経過観察していたが、コンベヤのパドルが摩耗しており飛灰の搬送が困難なため焼却炉を立ち下げた。
11	1号炉	休炉	R3.6.16	10:10	R3.6.16	12:10	R3.6.30	16:02	R3.7.1	10:35	日常点検の際に、ボイラ前壁外側ケーシングから水滴が滴下しているのを発見した。調査のために焼却炉を立ち下げた。
5	1号炉	休炉	R3.4.26	10:24	R3.4.26	15:00	R3.4.28	15:43	R3.4.29	8:49	No.3乾燥ストーカ下の燃烧空気流量が低下しており、調査したところ、同ストーカ下シュートの閉塞を確認した。閉塞箇所の解除のため、焼却炉を立ち下げた。

品川清掃工場 <休炉4、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	日	時	日	時	
54	2号炉	休炉	R4.3.16	6:25	R4.3.16	9:20	R4.3.21	12:31	R4.3.22	12:21	2号ストーカ下コンベヤの安全装置が作動し運転不能となった。灰の搬送が不可能となったため、2号焼却炉を立ち下げた。
47	2号炉	休炉	R4.1.9	15:21	R4.1.9	23:40	R4.1.11	0:14	R4.1.11	5:11	No.6非常時主灰搬送コンベヤの安全装置が作動し運転不能となった。灰の搬送が不可能となったため、1号焼却炉及び2号焼却炉を立ち下げた。
46	1号炉	休炉	R4.1.9	15:21	R4.1.9	23:49	R4.1.10	14:09	R4.1.10	21:40	No.6非常時主灰搬送コンベヤの安全装置が作動し運転不能となった。灰の搬送が不可能となったため、1号焼却炉及び2号焼却炉を立ち下げた。
6	1号炉	休炉	R3.4.29	8:00	R3.4.29	10:20	R3.5.27	10:37	R3.5.28	11:59	ボイラ給水流量と蒸発量の偏差が開き、給水流量が増加傾向である。調査のために焼却炉を立ち下げた。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」令和3年度(4月1日～3月31日)【清掃工場別】

葛飾清掃工場 <休炉3、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
52	1号炉	休炉	R4.3.4	6:31	R4.3.4	6:56	R4.3.10	19:57	R4.3.11	12:25	4日1時頃、ろ過式集じん機下No.2ダストコンベヤの故障発生。正逆転実施後復旧しコンベヤへの負担軽減のため蒸発量設定を32t/h→30t/hへ変更して運転を継続していた。その後、6時半に再度故障発生、正逆転不可のため焼却炉を立ち下げた。
16	2号炉	休炉	R3.7.28	18:32	R3.7.28	21:00	R3.8.5	19:32	R3.8.6	10:54	No.1ボイラ給水ポンプ制御盤内、電磁開閉器が故障(アーク痕による動作不良)した。調査のため、焼却炉を立ち下げた。
15	1号炉	休炉	R3.6.8	20:30	R3.7.23	14:00	R3.7.27	19:21	R3.7.28	11:11	ボイラ給水ポンプから2次過熱低減器への給水(6.1MPa・143℃)配管上にある、流量計オリフィスプレートの前後フランジ部より漏水したため、焼却炉を立ち下げた。

世田谷清掃工場 <休炉8、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
53	1号炉	休炉	R4.2.25	9:00	R4.3.10	15:49	R4.3.20	20:40	R4.3.21	10:08	モニタ監視中、流下口より冷却水の水漏れの疑いがあるため、様子を見ながら運転していたが、熔融炉内にスラグが堆積しはじめ、燃焼熔融炉内圧の制御が困難になったため焼却炉を立ち下げた。
44	2号炉	休炉	R4.1.2	12:45	R4.1.2	15:22	R4.1.9	9:16	R4.1.10	3:03	ガス化炉から循環している砂の流れがなくなった。改善を試みたが、復旧が見込めないためガス化炉を立ち下げた。
41	2号炉	休炉	R3.12.29	19:04	R3.12.29	23:44	R4.1.1	13:51	R4.1.2	3:04	ガス化炉(流動床)砂循環エレベータのサイクロ減速機故障により砂循環が不能となったため、焼却炉を立ち下げた。
38	1号炉	休炉	R3.12.15	18:08	R3.12.15	19:30	R3.12.17	22:41	R3.12.18	11:03	破碎ごみ供給装置ダブルフラップダンパ上渋滞解消せず。現場にて上部フラップダンパシリンダロッドのジョイント部が外れている事を確認。安全に取り付ける事が困難なため、焼却炉を立ち下げた。
32	1号炉	休炉	R3.11.10	0:52	R3.11.10	5:15	R3.11.14	20:42	R3.11.15	9:47	不燃物排出装置の運転が不調となり、砂等排出が困難となった。復旧が見込めないため焼却炉を立ち下げた。
18	1号炉	休炉	R3.7.31	5:27	R3.7.31	12:23	R3.9.23	23:07	R3.9.24	13:13	不燃物排出装置の運転が不調となり、砂等排出が困難となった。復旧が見込めないため焼却炉を立ち下げた。
13	2号炉	休炉	R3.6.3	15:40	R3.7.2	10:00	R3.7.16	21:22	R3.7.17	12:30	モニタ監視中、流下口より冷却水の水漏れを確認した。スラグバーナを使用し様子を見ながら運転していたが、燃焼熔融炉流下口がスラグにより閉塞したため焼却炉を立ち下げた。
7	1号炉	休炉	R3.5.9	17:14	R3.5.9	19:10	R3.5.13	21:28	R3.5.14	10:07	ガス化炉にごみを供給する破碎ごみ解砕機にて、過負荷による故障が発生し、ごみ供給が出来なくなった。復旧作業を試みたが不可能であったため、運転継続が困難と判断し焼却炉を立ち下げた。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」令和3年度(4月1日～3月31日)【清掃工場別】

大田(新)清掃工場 <休炉3、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
50	2号炉	休炉	R4.1.27	10:19	R4.1.27	12:23	R4.1.27	16:03	R4.1.27	22:10	2号炉ごみホッパレベル下下限が発報したため、調査を開始し、ホッパブリッジしていることを確認し解除作業を行ったが、解除不能なため、焼却炉を立ち下げた。
39	1号炉	休炉	R3.12.22	23:47	R3.12.23	2:46	R3.12.24	14:44	R3.12.25	8:30	1号炉ごみホッパレベル下下限が発報したため、調査を開始し、ホッパブリッジしていることを確認し解除作業を行ったが、解除不能なため、焼却炉を立ち下げた。
1	2号炉	休炉	R3.4.1	9:28	R3.4.3	16:16	R3.4.10	16:10	R3.4.11	6:29	2号炉乾燥空気ダンパ開度に対して流量が出ていないため、調査を開始したところ、乾燥ストーカ下シュートの閉塞を確認したため、焼却炉を立ち下げた。

練馬清掃工場 <休炉2、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
48	2号炉	休炉	R4.1.16	10:00	R4.1.25	10:01	R4.1.29	15:20	R4.1.30	11:53	ボイラ給水配管から蒸気漏れが発生した。経過観察していたが補修のため、焼却炉を立ち下げた。
25	2号炉	休炉	R3.8.15	19:00	R3.8.28	10:00	R3.9.1	15:10	R3.9.2	16:00	ストーカ冷却水の補給頻度が通常時より増加した。冷却水が流れるストーカ循環水配管からの漏水の疑いがあるため、調査及び補修のため焼却炉を立ち下げた。

杉並清掃工場 <休炉2、停止1>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
28	1号炉	休炉	R3.9.19	3:00	R3.9.19	4:01	R3.9.20	15:10	R3.9.21	11:22	No.1ボイラ給水ポンプのメカニカルシールより水漏れが発生した。調査のため焼却炉を立ち下げた。
クレーン 1	ごみクレーンNo.1	停止	R3.8.29	8:51					R3.9.13	17:00	自動運転中、開閉装置異常が発報し、開閉動作が不可となった。調査のためクレーンの使用を停止した。
12	2号炉	休炉	R3.6.13	11:00	R3.6.21	15:00	R3.6.23	15:09	R3.6.24	11:22	No.2ボイラ給水ポンプのメカニカルシールより水漏れが発生した。調査のために焼却炉を立ち下げた。

光が丘清掃工場 <休炉1、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
4	1号炉	休炉	R3.4.22	5:30	R3.4.22	12:40	R3.4.26	20:07	R3.4.27	10:35	乾燥ストーカ下シュートの閉塞を点検中に確認した。閉塞箇所の解除のため焼却炉を立ち下げた。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障週報」令和3年度(4月1日～3月31日)【清掃工場別】

72	1号炉	休炉	R3.3.24	7:20	R3.3.24	10:20	R3.4.12	20:13	R3.4.13	11:06	純水用塩酸サービスタンクから廃液中和槽への配管から地下2階ポンプ室内に塩酸が漏えいした。炉室内での異臭に職員が気づき、漏えいを発見した。焼却炉稼働が困難となったため、焼却炉を立ち下げた。
----	-----	----	---------	------	---------	-------	---------	-------	---------	-------	---

大田第一清掃工場 <休炉3、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
29	3号炉	休炉	R3.9.17	20:53	R3.9.30	3:51	R3.10.8	17:26	R3.10.9	18:29	排ガスの圧力変動からボイラ閉塞が疑われ、復旧の目途が立たず、調査・清掃のため焼却炉を立ち下げた。
21	3号炉	休炉	R3.8.17	20:53	R3.8.18	2:30	R3.8.19	16:00	R3.8.20	13:01	「ホッパレベル異常」が発報し、ろ過式集じん器下ホッパの閉塞が疑われた。ホッパ部槌打にて灰搬出を行ったが復旧の目途が立たないため、焼却炉を立ち下げた。
2	3号炉	休炉	R3.4.15	6:00	R3.4.15	13:36	R3.4.20	16:32	R3.4.21	15:12	排ガス洗浄吸収塔の水位上昇を確認した。給水ラインの漏えい調査のため引抜弁(手弁)で抜水をしたところ、弁の不良により引抜きが止まらなくなったため、焼却炉を立ち下げた。

令和3年度 清掃工場 故障による休炉55件、クレーン停止4件、タービン停止2件

令和2年度 清掃工場 故障による休炉 62件、停止 12件

令和元年度 清掃工場 故障による休炉 49件、停止 32件